

平成29年度森林土木研修会を開催しました。

当協会では、平成30年1月15日（月）に福島市の福島県建設センターにおいて森林土木研修会を（公社）福島県森林・林業・緑化協会との共催で開催しました。

当日は、協会会員のほか、福島県や市町村の職員など約110名の参加をいただき盛会に実施しました。



会長あいさつ

初めに、両協会を代表し、菅家洋一福島県森林土木建設業協会会長があいさつを述べたあと、福島県農林水産部農林技術課主査 松岡武史氏を講師に、「森林土木事業における施工パッケージ型積算方式」について講義を受けました。

講義の内容は、福島県が平成29年7月より導入している施工パッケージ型積算方式について、施工パッケージ型積算方式の概要、標準単価表の見方、施工パッケージ型積算方式による積算方法の説明があり、引き続き演習を実施しました。

次に、福島県出納局工事検査課主幹（兼）専門工事検査員 金子昌弘氏を講師に、「不適合工事の防止」について講義を受けました。

講義の内容は、これまでの不適合工事の実例について、良くある事例として現場密度管理の誤りやすい点や土木と農林の違いなど、具体的な事例をもとに解説していただきました。



松岡氏の講義



金子氏の講義

今回の研修は、受注者と発注者が一堂に会し、森林土木事業に係る諸問題について共通の認識を得ることができ、大変意義のある研修となりました。今後も、森林土木事業の適切な実施に資するよう、より一層充実した研修を企画したいと考えておりますので会員の皆様の御協力をお願いいたします。